

別紙 2 【55 周年記念局 8J1ME 運用規定ーログ・QSL 管理編】

55 周年記念局 8J1ME(以降記念局という)の運用にあたり、ログと QSL カードの管理について以下のとおり規定します。運用される各局は本規定を遵守してログの管理、QSL の発行等実施くださるようお願いいたします。

A. ログについて

- 1) ログは必ず作成すること。
- 2) 運用終了後、作成したログを、可能な限り速やかにログ・QSL マネージャー(後掲)宛、メール添付ファイルで送付する。
- 3) ログの形式は、運用終了後のデータの分析等考えるとハムログが望ましい。
しかし、ハムログはどうしてもという局は紙ログもやむをえないが、できれば csv ファイル(ハムログにインポートできる形式)(注 1)をお願いしたい。
なお、この際ハムログを勉強いただくと管理責任者は助かります。
- 4) ログの送付は、なるべく運用終了の都度お願いします。
- 5) ハムログデータは、csv に変換したファイルを送付のこと。但し、記念局 8J1ME 相当分のみとし、各局の個人コールでの通常運用時のデータが混ざらない様注意してください。(注 2)
なお、csv への変換方法は付紙「創立 55 周年記念局 ハムログデータを csv ファイルに変換して保存する方法」を参照願う。この説明書は HP「創立 55 周年記念局の運用者向け情報」のページに掲載しています。
- 6) ログ・QSL マネージャーは、記念局の運用が終了し、全てのデータがそろった時点で、総局数、エリア別、周波数別、オペレータ別等々の分析を行う。

(注 1) * csv ファイル作成時は、各項目を下記記載の順に並べて下さい。かつこ内は記入例で、英数字は半角です。

コールサイン(JK1EBA), 年月日(2021/6/11), 時刻(13:45), 相手のリポート(59), 自分のリポート(59), 周波数(7), モード(SSB), 相手住所コード(1114), グリッドロケータ(空欄, FT8 の時は使用 S/W による), QSL(ここも空欄), 相手の名前(はせがわ), 相手の住所(神奈川県大和市),

Remarks 1(%/1 さいたま市浦和区, JCC:134407, GL:PM95TV%),

Remarks 2(%OP:JR3OET%), DX(相手が DX の場合には、数字の 8)

*** ファイル名はログ・QSL マネージャーでの識別・整理のため、次の通りコールサインと運用月日を明記してください。**

ファイル名例: Loglist_JR3OET_0616.csv

(注 2) 既に個人局用にハムログを使用中で、8J1ME 用に別に設定する要領は次のとおり。

ハムログを起動し、以下の順で操作する。[オプション]メニュー ⇒ [データの保守] ⇒ [別コールサイン用にインストール]

コールサイン入力画面がでるので、8J1ME と入力する。デスクトップに 8J1ME のハムログアイコンができ、Cドライブ直下に「8J1ME」フォルダーが自動作成される。(お使いの PC により異なる場合があります)

B. QSL カードの発行

- 1) 運用者又は運用責任者(各クラブ代表者等)が責任を持って自分が運用した QSO の QSL カードを発行すること。
- 2) QSL カードの作製は、ハムログ等 PC による印刷、データ印刷済みのラベル紙の貼付、手書きのいずれでもよい。
特に、ラベル紙の貼付の場合には、JARL 転送枠への相手局コールサインの記入を忘れない様に。
- 3) また、移動運用先、オペレータ名も忘れないように。
移動運用先は、<市町村名+AJA 等の No.>とグリッドロケータ(GL)を記載し、オペレータ名はコールサインで可。なお、GL が不明の場合は記載しなくてもよい

- 4) JARL QSL ビューローへの送付は、次のいずれかの方法で実施ください。
- ① 運用者が自分で送付する …… 基本はこの方法とする
 - ② 運用者が自分で JARL の事務所へ持ち込む
 - ③ ①, ②がどうしても不可なら、ログ・QSL マネージャーへ届ける(郵送, 手渡し等々)。
ログ・QSL マネージャーは、各運用者からの QSL が届けられたら、分量を見ながら適宜 JARL QSL ビューローに送付する。

C. ハムログへの入力 <付紙2 20210520_ハムログ_Remarks 入力データ形式.pdf 参照>

- 1) Ver.5 以上を使用ください。(最新版をダウンロードして使用ください。)
- 2) 通常の QSO 時の入力の他に、下記に注意のこと。
 - ① 名前:原則 “ひらがな” で入力。ハムログユーザーで、コールサイン入力で自動的に出てくるのはそのままとする。
 - ② RMKS1:オペレータの移動先を下記要領で記入。
%/1 移動先市町村(AJA No.), GL:(半角 6 桁)%
例えば “さいたま市浦和区” で運用の場合は, %/1 さいたま市浦和区, JCC#134407, GL: PM95TV%.
 - ③ RMKS2:オペレータのコールサインを下記要領で記入。個人コールがない局は名前を記入。
%OP:コールサイン%. 例えば, %OP:JR3OET% または%OP:YOKOSUKA%のように。
- 3) なお、運用時の無線機や ANT は QSL カードには記載しませんが、念のためログには記載しておいて下さい。
なお、紙ログなしで最初からハムログの時には、別途運用時の無線機と ANT をログ・QSL マネージャーにメールで連絡ください。

D. QSL 印刷用の定義 S/W(ハムログ用)

- 1) QSL カードのデータ面は白紙です。ハムログ用の印刷用定義 S/W を作成し、配布します。
ファイル名は 55_8J1ME_0521.qsl です。
PC とプリンターが異なれば、細かな点でずれがあることも考えられ、最後は QSL を発行される皆さんでテスト&調整ください。

E. QSL カードの配布

- 1) 記念局運用者は、QSL カードの必要枚数および送付先をログ・QSL マネージャーに連絡ください。
ログ・QSL マネージャーから指定の送付先へ送ります。
- 2) 作業の効率化、配送費用の削減等々より運用の都度よりは、ある程度まとまった枚数での連絡をお願いします。

F その他

- 1) ログの送付、QSL カードの要求等々ログ・QSL マネージャーへの連絡は、必ず「正」と「副」の両者にパラに情報を流してください。
- 2) 実際の運用により変更すべき点が出てくれば、柔軟に対応してトラブルなく乗り切りましょう。
- 3) 本規定で不明な点あれば、ログ・QSL マネージャーに問い合わせください。
現時点でのログ・QSL マネージャーは次の通り。

正: JR3OET 横須賀 良夫
〒330-0075 さいたま市浦和区針ヶ谷 3-19-9-707
E-mail: jr3oet@jarl.com
副: JA1FYA 浜口 忠彦
〒247-0062 鎌倉市山ノ内 1179-14
E-mail: ja1fya@jarl.com

以上